

【参考資料】

別表1 本業務に係る数量

※本表における数量についてはあくまで参考であり、実際の対象者数等は企画提案時に任意に設定可能。

No.	項目	年齢	人数	男女別	
				男性	女性
1	令和7年度特定健康診査受診券当初発行人数	全体	109,645人	51,805人	57,840人
		40-59	39,182人	20,831人	18,351人
		60-74	70,463人	30,974人	39,489人
2	No.1のうち、令和5年度受診者	全体	28,600人	11,585人	17,015人
		40-59	5,651人	2,592人	3,059人
		60-74	22,949人	8,993人	13,956人
3	No.1のうち、令和6年度受診者	全体	32,377人	13,307人	19,070人
		40-59	6,730人	3,063人	3,667人
		60-74	25,647人	10,244人	15,403人
4	No.2のうち、令和6年度未受診者	全体	6,164人	2,581人	3,583人
		40-59	1,830人	825人	1,005人
		60-74	4,334人	1,756人	2,578人
5	No.1のうち、令和4～6年度 受診回数0回(未経験者)	全体	68,078人	34,583人	33,495人
		40-59	29,664人	16,470人	13,194人
		60-74	38,414人	18,113人	20,301人
6	No.1のうち、令和4～6年度 受診回数1,2回(不定期受診者)	全体	24,366人	10,425人	13,941人
		40-59	6,815人	3,055人	3,760人
		60-74	17,551人	7,370人	10,181人
7	No.1のうち、令和4～6年度 受診回数3回(連続受診者)	全体	17,201人	6,797人	10,404人
		40-59	2,703人	1,306人	1,397人
		60-74	14,498人	5,491人	9,007人
8	No.1のうち、市が携帯電話番号を保有している者 (070,080,090から始まる番号)	全体	35,232人	15,542人	19,690人
		40-59	9,662人	4,608人	5,054人
		60-74	25,570人	10,934人	14,636人
9	No.1のうち、市が固定電話番号を保有している者 (043,047から始まる番号)	全体	12,971人	4,669人	8,302人
		40-59	2,226人	1,064人	1,162人
		60-74	10,745人	3,605人	7,140人
10	令和8年度特定健康診査受診券当初発行人数(見込み)	全体	115,000人		

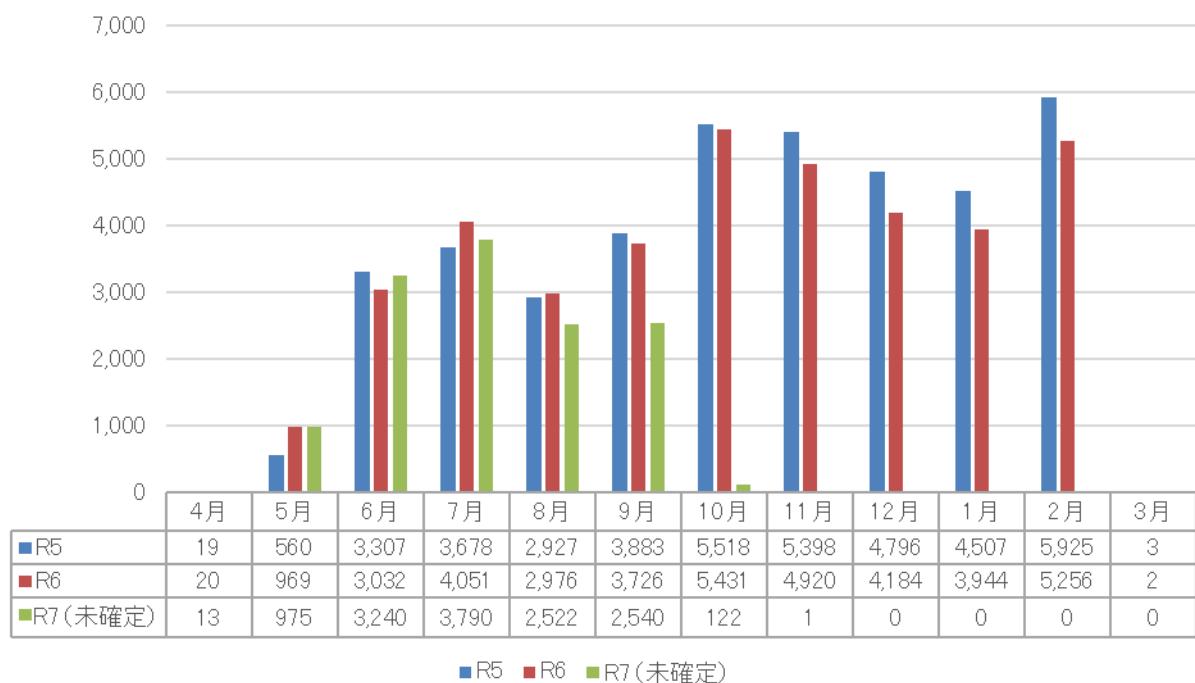
No. 1 のうち、令和 4～6 年度の受診回数と電話番号保有状況

	受診回数0回 (未経験者)	受診回数1,2回 (不定期受診者)	受診回数3回 (連続受診者)	合計
番号保有なし	59,598人	1,478人	366人	61,442人
携帯電話番号保有あり	4,558人	18,060人	12,614人	35,232人
固定電話番号保有あり	3,922人	4,828人	4,221人	12,971人
合計	68,078人	24,366人	17,201人	109,645人

別表2 令和5年度～令和7年度 月別受診者数

※令和7年度は12月時点のデータである。

※法定報告対象者外の方も含まれるため、法定報告の数値とは異なる。



別表3 令和6年度年齢別受診状況（法定報告）

	対象者	受診者	受診率
40代(40～49歳)	14,061人	2,425人	17.2%
50代(50～59歳)	20,115人	4,361人	21.7%
60代(60～69歳)	33,175人	12,287人	37.0%
70代(70～74歳)	36,585人	15,528人	42.4%
合計	103,936人	34,601人	33.3%

19.9%

39.9%

別表4 千葉市の主な受診勧奨実績

項目		R5 年度	R6 年度	R7 年度 (R7. 12 時点)
法定報告	対象者数	109,922 人	103,936 人	107,722 人
	受診者数	36,712 人	34,601 人	11,838 人
	受診率	33.4%	33.3%	11.0%
	受診率増減	+0.3%	-0.1%	
特定健康診査受診勧奨業務委託内	契約方法	プロポーザル方式	プロポーザル方式	プロポーザル方式
	ハガキ	<ul style="list-style-type: none"> ・40～74 歳 (業者提案により、年齢、過去の受診歴、問診結果から抽出条件に合わせパターン分け) <u>80,934 人</u> (133,375 通) ・次年度健診対象者 (年度末 39 歳) <u>1,548 人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・40～74 歳 (業者提案により、年齢、過去の受診歴、問診回答から抽出条件に合わせたパターン分け) <u>90,733 人</u> (115,877 通) ・次年度健診対象者 (年度末 39 歳) <u>1,442 人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・40～74 歳 (業者提案により、年齢、過去の受診歴、問診回答から抽出条件に合わせたパターン分け) <u>75,960 人</u> (93,674 通) ・次年度健診対象者 (年度末 39 歳) <u>1,600 人</u> (予定)
	SMS	<u>17,464 人</u> (30,429 件)	<u>5,429 人</u> (10,100 件)	<u>5,445 人</u> (10,122 件)
	電話	実施なし	実施なし	実施なし
	その他	・健診 web サイト	・健診 web サイト	・健診 web サイト
勧奨策	市公式 LINE での勧奨	<u>1回目 : 875 人</u> <u>2回目 : 896 人</u> <u>3回目 : 934 人</u> <u>4回目 : 989 人</u>	<u>1回目 : 984 人</u> <u>2回目 : 982 人</u> <u>3回目 : 979 人</u> <u>4回目 : 989 人</u>	<u>1回目 : 1,096 人</u> <u>2回目 : 1,121 人</u> <u>3回目 : 934 人</u>
	電話	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会支援事業で実施 R2-3 受診、R4 未受診の 40～59 歳 <u>702 人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会支援事業で実施 不定期受診者のうち、43～69 歳 <u>834 人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会支援事業で実施 不定期受診者のうち、42～70 歳 <u>790 人</u>
	健診結果の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・リーフレットを作成し、窓口等での周知 ・過去申請者への提供書送付 <u>192 件</u> ・健診結果提供件数 <u>159 件</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・リーフレットを作成し、窓口等での周知 ・過去申請者への提供書送付 <u>127 件</u> ・健診結果提供件数 <u>231 件</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・リーフレットを作成し、窓口等での周知 ・過去申請者への提供書送付 (予定)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりでの広報 ・市政情報モニター ・受診勧奨ポスター・リーフレットでの周知 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりでの広報 ・市政情報モニター ・受診勧奨ポスター・リーフレットでの周知 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりでの広報 ・市政情報モニター ・受診勧奨ポスター・リーフレットでの周知 等

別紙1 千葉市特定健康診査 実施概要等

1 千葉市特定健康診査 実施概要

(1) 受診券発送時期

○4月1日時点国保加入者：5月中旬に一斉発送

○4月以降新規国保加入者：毎月月末に、前月末までに加入届出をした者に対し受診券を送付。（12月末加入者まで）

(2) 受診期間

受診券到着後～2月末まで（全員共通）

(3) 受診場所

千葉市医師会所属の市内健診協力医療機関（270カ所程度）

※千葉市は個別健診のみで、集団健診の実施はなし。

(4) 健診費用（自己負担額）

500円

2 千葉市が抱える課題

(1) 継続した受診（2年連続受診）につながらない

別表1のとおり、令和5年度受診し、令和6年度受診していない方が、約22%いる。

(2) 長期未受診者の健診受診につながらない

別表1のとおり、令和7年度特定健康診査受診券当初発行者のうち、約62%の方が過去3年間1度も受診していない。そしてこの未受診者のうち、約47%の人は生活習慣病のレセプトデータがあり、定期通院中である。他に、職場健診・人間ドックを受診している方が含まれているため、健診結果の提供を案内しているが、伸び悩んでいる状況である。

(3) 男女ともに40,50代の受診率が低い

別表3のとおり、60,70代の受診率は約40%と高いが、40,50代の受診率は約20%と低い。